

AsMama Monthly Report

企業協働レポート 近畿日本ツーリスト株式会社

加美町の観光資源を活用した 親子ワークショップ &VR制作体験ツアーで生まれた セレンディピティ



企業協働レポート 株式会社日京ホールディングス

地域住人とつながり 愛されるコミュニティづくり 「横浜スタイル倶楽部」

AsMamaソーシャルビジネスコラム

お金で買えないものってあるの？

プロジェクト開催報告 PICK UP

AsMama Data

メディア掲載実績

11/23 シェアフェスにて、グリーンフライデープロジェクトへの参画を発表！

加美町の観光資源を活用した 親子ワークショップ& VR制作体験ツアーで生まれた セレンディピティ

宮城県の北西部に位置する加美町（かみまち）。シンボルとなる薬菜山（やくらいさん）がそびえたつ自然豊かなこの町で、この秋、親子ワークショップ&デジタル体験の無料モニターツアーを開催しました。



伝統野菜・小瀬菜大根の収穫体験



この取り組みは、観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」により、近畿日本ツーリスト(株)が無料モニターツアーを主催し、私たちAsMamaが子育て世帯へのプロモーションおよび親子ワークショップの促進を、そしてスマートワーク(株)

が360度カメラを用いたVR制作のデジタル体験コンテンツを担い、3社が協働して、2022年10月15日から2泊3日のツアーとして実施したものです。

小学生の子どもを持つ親子を参加対象とし、AsMama認定・地域サポーター「シェア・コンシェルジュ」と連携したクチコミ・対面・SNSなど、幅広いマルチチャンネルでプロモーションを行



地元の酒蔵「中勇酒造」酒造りの工程を見学



大崎耕土「蟬塚（せみせき）」VR制作体験の素材も撮影

い、7世帯20名以上の参加となりました。仕事も子育てもどちらも大事にできる週末親子ワークショップ。その土地・地域の観光資源を活用した唯一無二の体験。地域コミュニティを活用したモニターツアーだからこそ、参加者同士の交流や親睦が生まれ、自分たちで探す観光や食とは異なる体験ができたり、セレンディピティ（※）がありました。

AsMamaでは、今後も長野県小布施町や静岡県三島市での親子ワークショップのプロモーションを予定しています。子育て世帯に喜ばれ、共助コミュニティが生まれ、関係人口の創出の支援にもなる運営を目指してまいります。

※セレンディピティ (serendipity) とは
素敵な偶然に出会ったり、予想外のものを発見すること。また、何かを探しているときに、探しているものとは別の価値があるものを偶然見つけること。平たく言うと、ふとした偶然をきっかけに、幸運をつかみ取ることである。(Wikipedia より)



地域住人とつながり 愛されるコミュニティづくり

2022年1月より、横浜を拠点に、孤立孤独化する子育て世帯の解消を目指して、不動産サービス「横浜スタイル」の店舗を活用した地域交流の場づくりと、生活や子育ての頼りあいアプリを活用したコミュニティ「横浜スタイル倶楽部」をスタートしています。今回は、代表取締役の八幡 政幸様にお話を伺いました。



株式会社日京ホールディングス
代表取締役 八幡 政幸 様

AsMamaとはどんな取り組みをしていますか？

月に2回ほど弊社オフィスのオープンスペースにて様々なイベントを開催させていただいております。子育てに役立つ情報などをただ提供するだけでなく、同年代のお子様をお持ちのご家族との交流の場を作ることや、お子様と一緒に横浜をテーマにMAPの作成をしたりと、ご家族で参加できることに取り組んでおり、私共と地域の方々の交流ということもありますが、何よりも一緒にご参加いただいたご縁にてご家族同士の交流が大きく広がっていくようなコミュニティが作れるような場所をご提供できるようになればと考えています。

弊社とご一緒される決め手になったことは？

横浜スタイルにて不動産をご購入・ご売却いただいた方はもちろん、地域の方々と交流する機会を設けたいという思いがあったからです。以前より常々、買って終わり・売って終わりではなく、地域に根ざし地域に愛される不動産屋を目指していました。どのように地域との交流を深めていくかを悩んでいたところにお声がけいただいたことがきっかけです。住宅のご購入・ご売却を検討いただいている方以外は不動産屋に連絡をすることはなかなかない中で、どんな方でも参加していただけて、地域の役に立つことの出来るようなプロジェクトはとても魅力的でした。

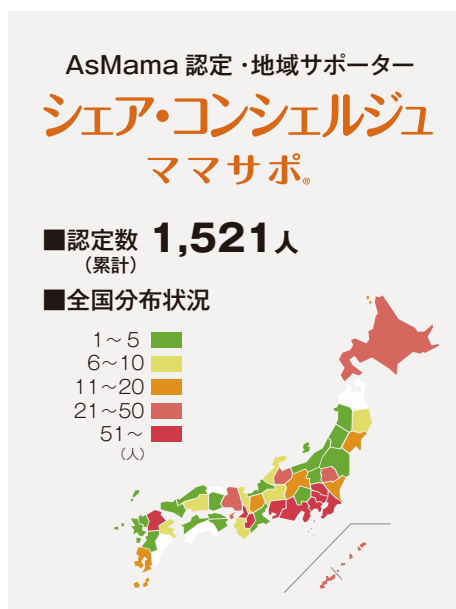
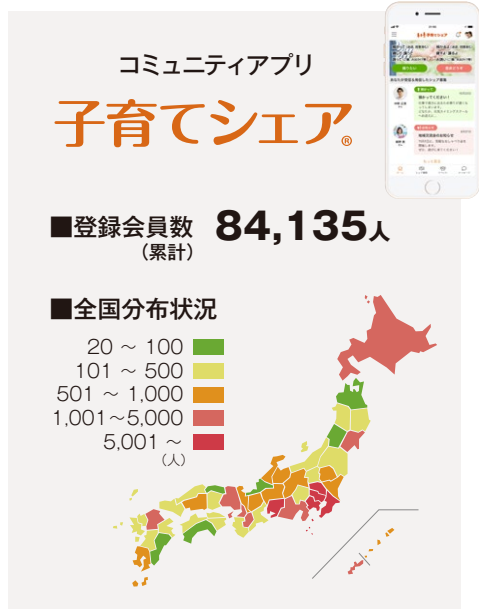
協働スタートしてから何か変化はありましたか？

地域の方々との交流の場が増えたのが一番の変化です。これまでは確定申告のセミナーなど不動産に関する分野のイベントを開催していましたが、それだと気軽に参加しづらいということはあったかと思えます。特に小さなお子様と一緒にすると周りを気にしてしまうこともあるかと思えますが、一緒に参加される方々も同じくお子様連れということで、気兼ねなくご参加いただける交流の場を提供することができるようになりました。つい先日でも弊社がスポンサードしているプロバスケットボールチームの試合の観戦ご招待をAsMama様経由でもお願いさせていただきました。多くのご家族にご参加いただき、会場も大変盛り上がりました。

今後期待していることはありますか？

もっと地域の方々との交流を増やすことができると考えています。横浜スタイルという名前のおり横浜という地域に根づいた会社を目指しているため、もっと積極的に地域との関わりを持ち、イベントを含めどのような事が地域のためになるのかを考えていきたいです。「家族で参加するイベントといえば横浜スタイル」と思っていただけのように、横浜スタイルを中心としたコミュニティが横浜という地域をより一層活気づけるような存在となれればと思います。

AsMama Data 2022.11.1



共助実績

累計解決数 **38,151件** 解決率: **81.05%**

共助実例

イメージ:写真AC

今月は、子育てシェアでの送迎・託児の頼りあいに「救世主です!」という言葉も。

親だけで子育ての手が足りないとき、実家を頼れないとき、地域での子育てシェアに救われる方が多数いらっしゃいます。



参観の時間だけ下の子を見てほしい!

(北海道札幌市)
きょうだいの園・学校行事。一人を見てもらえるだけで助かりますね。

自宅で子どもを見てくれませんか?

(東京都小平市)
顔見知りでも子育てシェアを通せば謝礼有での「お願い!」も「いいよ!」も言いやすい。

保育園のお迎えと夕ご飯をお願い

(愛知県清須市)
「本当に助かります!」の切実なお礼のメッセージが添えられていました。

お金で買えないものってあるの？

行政のコンサルティングや大学の研究員、普段は田舎のヤンキー！？をしながら先月AsMamaにジョインした「かずにい」こと金澤一行が、政治学・経済学・歴史学の視点から「コミュニティ」を解きほぐす連載がnoteでスタート！今回は記念すべき第1回を一部チラ見せ！最後まで読みたい方はAsMama公式noteをチェックしてくださいね！

1. お金の正体とは？

昔社会の授業で習ったことを思い出してください。社会の先生は、お金とは「信用」と言っていたはずです。私も初めて聞いたときに、「お金が信用ってどういう意味だよ？」と思いました。信用ってどういう意味でしょうね？ここでいう信用というのは、「1万円札を持っていけば、1万円分のもので交換してもらえるよね」という信用です。もし、この信用がなければ、1万円札はただの紙切れです。そして、1万円札は誰が持っていても1万円の価値があるということになります。イギリスの経済学者、フェリクスマーティンは、これを「譲渡可能な信用」と表現しました。「譲渡可能」というのがポイントです。誰がもっていても同じ価値を持っている。王様が持っていても平民がもっていても1万円は1万円分のもので交換してもらえるのです。では、「譲渡可能な信用」があるなら、「譲渡不可能な信用」もあるのではないのでしょうか？それがソーシャルキャピタルというものなのです。

2. ソーシャルキャピタルって何？

ソーシャルキャピタルとは、ざっくり言うと「人との関係に基づく信用」です。日本語で言うと「社会関係資本」という難しい訳語になります。例えば、お世話になっている人だから何

かしてあげようというような感じで、よい関係があるから特別に何かしてあげる・もらえるの関係ですね。

ソーシャルキャピタルを貯めていると、困ったときに誰かに助けてもらえる。自分のことを気遣ってもらえるといういいことがあります。これは、他人に譲渡するのはなかなか難しいです。「あなただから助けるけど、他の人にはやりたくない」というのって結構あると思います。しかし、ソーシャルキャピタルが交換できるものって少ないです。なぜなら、自分の仲の良い人にしてもらえる範囲のものでしかないからです。そして、ソーシャルキャピタルで手に入る多くのものはお金で買うこともできます。例えば、おすそ分けでいただける食べ物だって、ほとんどのものは買うこともできます。高齢者や子どもの世話だって、お金を払ってやらしてもらうサービスもあります。人と人との関係性でできているソーシャルキャピタルで手に入るものってお金でも手に入るものが多いんです。

じゃあ、なんでソーシャルキャピタルって大事なんですか？理由は2つあります。

気になる2つの理由は
noteで！



AsMama プロジェクト開催報告 PICK UP 2022.10

※弊社ガイドラインに沿って感染症拡大防止・予防対策を徹底し、協働企業・自治体と協議の上で実施しております

コミュニティ創生事業



ひまわり収穫祭 in 小島町団地
UR都市機構 / 東京都葛飾区



ハロウィンマルシェ in シェリアシティ千里山
関電不動産開発(株) / 大阪府吹田市



魔法の絵の具あそび in ふじえだ親子交流会
中部電力(株) / 静岡県藤枝市



ハロウィンリトミック in ふじえだ親子交流会
中部電力(株) / 静岡県藤枝市



子ども店長マルシェ in 港南台バース
(株)相鉄ビルマネジメント / 神奈川県横浜市



つまみ細工体験 in MARK IS 静岡
三菱地所プロパティマネジメント(株) / 静岡県静岡市

コミュニティ活用事業



子育てで家族のライフプラン勉強会
アクサ生命保険株式会社 / 静岡県静岡市



横浜スタイル倶楽部 子育てでマップ作り
(株)日京ホールディングス / 神奈川県横浜市

ほか多数開催!

取り組み紹介

横浜・港南台の商業施設、子育て支援拠点に 相鉄など協業

子育て | 支援 | 育児 | 商業施設 | イベント

横浜 | 神奈川新聞 | 2022年10月11日(水) 05:20



相鉄グループの相鉄ビルマネジメント（横浜市西区）は、運営する商業施設「港南台バース」（同市港南区）を使った子育て支援プロジェクトを今月から始めた。保育シェアのサービスを展開するAs Mama（アズママ、同市中央区）と協業。イベント開催などを通じて、施設を中核とした地域コミュニティの形成を図る。



As Mamaが港南台バースで行ったイベントの様子（相鉄グループ提供）

As Mamaのアプリ「子育てシェア」内に、交流ページ「バース・ネスト・クラブ」を新設。同施設で毎月複数回開催される交流イベントを案内するほか、買い物中の託児を依頼するといったコミュニケーションの場を目指す。

横浜・港南台の商業施設、子育て支援拠点に 相鉄など協業

神奈川新聞に港南台バースでの取り組みが紹介されました。(10/11)



小島二丁目目地「ひまわりプロジェクト」でひまわりの種収穫会を行いました!

UR都市機構のホームページに、企画開催した団地内住民交流イベントの様子が掲載されました。(10/20)

代表登壇



日本のジェンダーに関する課題を解決する事業案を検討する

VUCA時代に、持続的にイノベーションを創出できる企業を増やすことを目指す、異業種参画型リーダーシップ開発プラットフォームJammin'に代表 甲田恵子が登壇しました。(10/14)

最新のメディア情報はこちら

<https://asmama.jp/news/>



AsMama Monthly Report 2022年11月30日(水) 発行

発行：株式会社 AsMama お問い合わせ：info@asmama.co.jp

編集：AsMama Monthly Report 編集チーム 協力：AsMama All Staff

読後アンケート▶▶▶ <https://jp.surveymonkey.com/r/HM68Y86>

回答時間約1分。ご意見・ご感想お待ちしております！

